

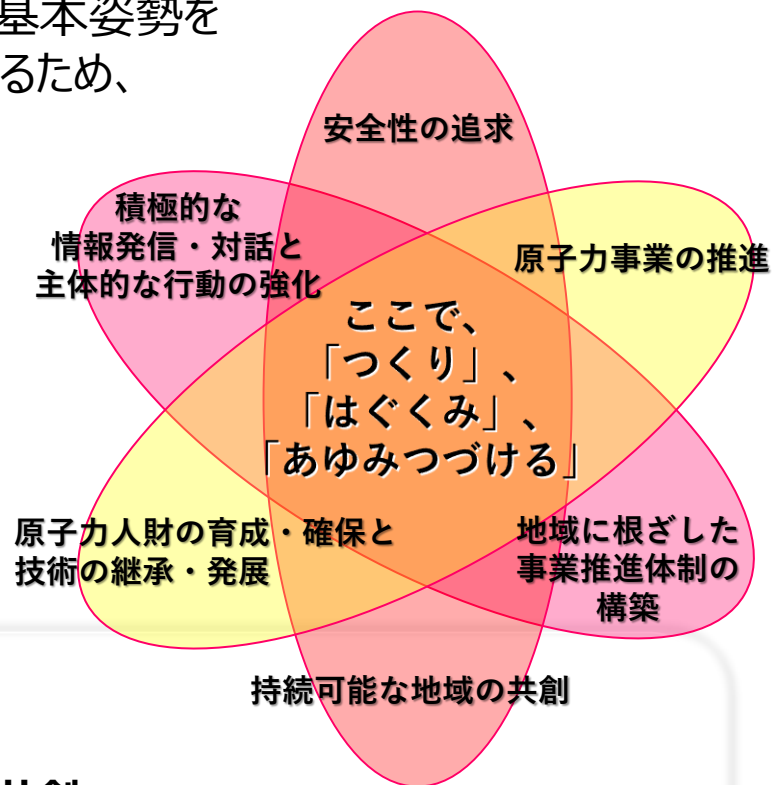
# 青森行動計画

当社は、2019年3月、地域に根差して原子力事業を進めていく基本姿勢を「青森行動計画」としてとりまとめ、同年7月には、それを具体化するため、「青森事業本部」を設置しました。

私たちは、青森行動計画の基本コンセプトである

ここで、「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづける」

を基本に、**6つの基本方針**のもと日々取り組んでいます。



## 6つの基本方針

1. 安全性の追求
2. 原子力事業の推進
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築
4. 持続可能な地域の共創
5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展
6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化

# 東通原子力発電所の概要

ABWR（改良型沸騰水型軽水炉）2基の建設を計画しております。

1号機は、原子炉設置許可等を取得し2011年1月に着工したものの、福島第一原子力発電所事故以降、建設工事を見合わせております。

## 東通原子力発電所立地経緯

- 昭和40年5月（1965年） 東通村議会、原子力発電所誘致決議
- 昭和56年12月（1981年） 第一次開発計画発表  
（東北・東京それぞれ110万kW×2基）
- 平成11年3月（1999年） 東京1・2号機ABWR導入に伴う  
東通村、青森県への説明
- 平成18年9月（2006年） 東京1・2号機  
重要電源開発地点指定
- 平成22年12月（2010年） 東京1号機 原子炉設置許可
- 平成23年1月（2011年） 東京1号機 着工  
（工事計画第一回認可）
- 平成23年3月（2011年） 東日本大震災の影響を受け、1号機の  
工事を中断

## 発電所概要

|         | 1号機                               | 2号機 |
|---------|-----------------------------------|-----|
| 建設地     | 青森県下北郡東通村小田野沢                     |     |
| 敷地面積    | 約4.5km <sup>2</sup> （東京ドーム約100個分） |     |
| 電気出力    | 138万5千kW×2基                       |     |
| 炉型      | 改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）                  |     |
| 着工      | 2011年1月                           | 未定  |
| 営業運転開始* | 未定                                | 未定  |

\* 2025年度供給計画より

# 1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (1 / 3)

建設再開に向けて新規規制基準の申請準備を進めています。より安全性に優れたプラント設計を追求するとともに、新規規制基準の適合に向けたデータを収集するため、ボーリングや試掘坑による敷地内の調査を継続して実施しています。福島第一の事故等で得られた教訓や知見、稼働した先行プラントでの経験や国内外の先進的な設計等、これまで培われたものをしっかり反映し、地域の皆様にご安心いただける発電所を目指し、引き続き全力で取り組んでまいります。

## <地質調査>

➤ 目的：敷地の地質および地質構造を把握するためボーリング調査・試掘坑調査を実施。

➤ 現在の実施事項：

### [ボーリング調査]

・ 2018年8月から敷地構内において地下のボーリング調査を実施中。

今年度までに約350箇所、計26kmの調査を実施。 ※2018年以前も合わせると累計で約900箇所、計75kmの調査を実施

・ また、施設の設計に用いる地下水位を検討するための基礎データとして、地下水位観測等の調査を実施中。

### [試掘坑調査]

・ 2019年1月から立坑・横坑掘削工事を開始し、2019年8月から調査を実施中。



ボーリング調査



地下水位観測孔設置状況



試掘坑調査



試掘坑内部

# 1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (2 / 3)

## <地震観測>

- 目的：地震が来た際に敷地構内がどのように揺れるのかを把握するために実施。
- 現在の実施事項：敷地構内の地表に地震計を約30カ所設置し地震観測を実施。この他、2022年には地下約2,500mの大深度に地震計を設置しており、これにより地震時の敷地構内の揺れをより詳細に把握することができる。



地震計の設置状況

## <周辺整備作業>

- 目的：建設工事を円滑に進めるため周辺整備作業を実施。
- 現在の実施事項：建設作業エリアの造成や管理用道路の整備等の周辺整備作業を継続実施中。



建設作業エリアの造成



管理用道路の整備

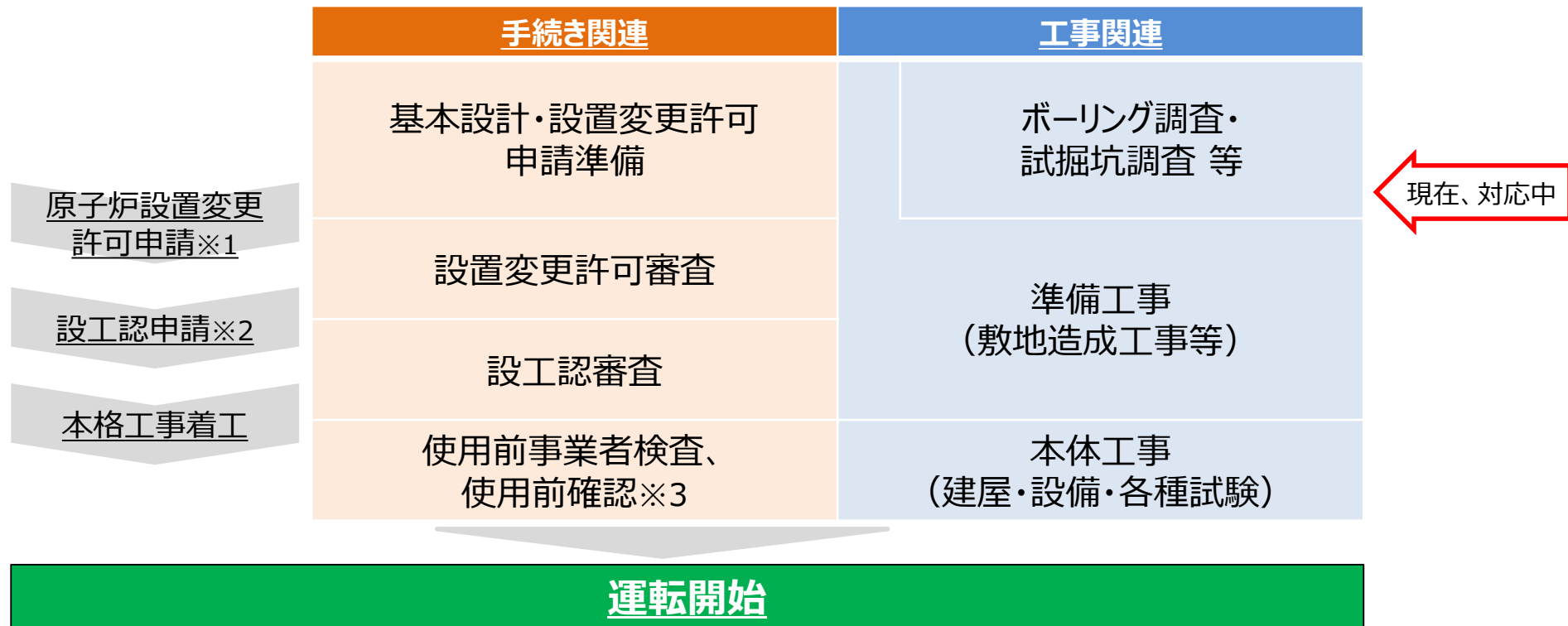


港湾設備の維持補修

# 1. 安全性の追求 / 2. 原子力事業の推進 (3 / 3)

福島第一の事故以降見直された新しい規制基準では、地震・津波などに対する従来の基準が大幅に強化されています。先行プラントの実績を踏まえ、綿密な調査・検討を行い、設計に取り組むことで、今後の建設をより円滑に進めることができると考えております。

## <東通1号機 主な工程 (イメージ)>



※1原子炉設置変更許可：

原子力施設の基本設計が、国の安全基準に適合しているかを、原子力規制委員会が審査し許可する手続き

※2設工認：

「設計及び工事の方法その他工事の計画の認可」の略称

原子力施設の詳細設計が、設置許可と整合しているかや国の安全基準に適合しているかを、原子力規制委員会が審査し認可する手続き

※3使用前事業者検査、使用前確認

使用前事業者検査とは、工事が設工認どおりに実施され、国の安全基準に適合しているかを、事業者が主体となって実施する検査

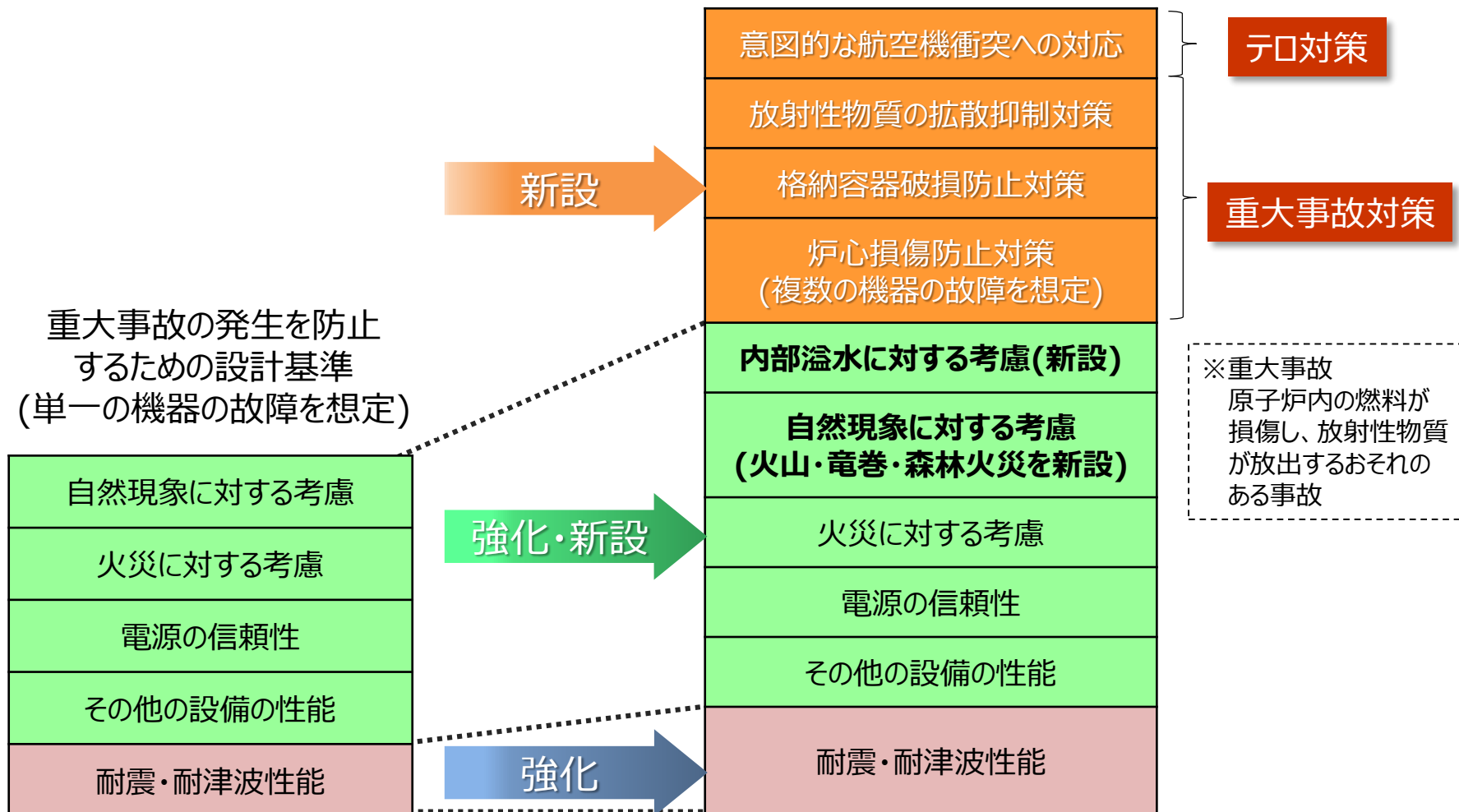
使用前確認とは、使用前事業者検査が適切に実施され、終了していることを、原子力規制委員会が確認するもの

## <参考> 規制基準の強化・新設

2013年7月、従来の規制基準が見直され、新規制基準が施行されました。

### 《従来の規制基準》

### 《新規制基準》



### 3. 地域に根ざした事業推進体制の構築（1 / 3）

2019年7月、地域に根差して原子力事業を進めていくために、本社機能を現地に移転した新たな組織「青森事業本部」を設置しました。

青森事業本部は、これまで東通原子力建設所にてオフィスを間借りする形で事業を行っていましたが、計画的に機能・人員等のさらなる強化を図るため、ひとみの里エリアに新社屋と住居・交流施設を建設いたしました。2025年11月より入居を開始し、12月から施設の一部を一般の方にもお使いいただくようにしております。地域の開かれた場として、利便性向上と新たな交流の創出をめざしてまいります。

#### <施設名称：nooqu[ノーク]>

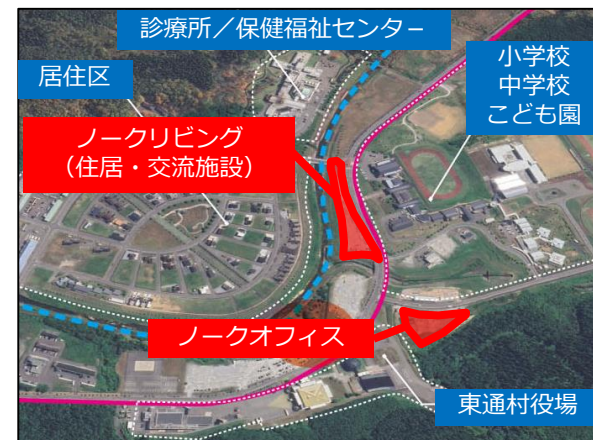
- 11月29・30日のオープニングイベントを経て、12月1日より施設の一般開放を開始いたしました。オープニングイベントはご来賓の方を含めて、2日間でのべ1,000人近くの方にご来場いただきました。



テープカット



東通音楽クラブによる演奏



ノークオフィス・リビング位置図

- 一般開放している屋内広場やワークラウンジ、食堂などの施設は、より多くの地域の方にお使いいただけるよう、運用方法等について日々検討を進めています。

### 3. 地域に根ざした事業推進体制の構築（2 / 3）

#### <nooqu OFFICE（ノークオフィス）>

- オフィス機能に加えて、シェアオフィスやイベントスペースなど、内外から人が集まり交流できる空間をめざしています。

#### Work lounge（ワークラウンジ）

仕事や勉強・休憩に使えるワーキングスペースです。電源やWi-Fiを完備したラウンジ席に加え、集中したいときの個室ブースや、多人数での打ち合わせにも活用できる会議室も設けています。会議や打ち合わせ、ちょっとした談話などにもご利用いただいております。



#### のくのく広場（屋内広場）

誰もが自由に過ごせる、開かれた憩いのスペースです。約200インチの大型LEDスクリーンを備えた開放的な大空間は、地域イベントやピアノコンサート、ヨガ教室、各種発表会など幅広くご利用いただいております。



新春イベント



ピアノコンサート



チエアヨガ教室



発表会

### 3. 地域に根ざした事業推進体制の構築（3 / 3）

#### <nooqu LIVING（ノークリビング）>

➤ 社員寮のほか、地元の方々もご利用いただけるコインランドリーや食堂、ブックコーナーを1階に併設しました。

#### ノークランドリー

ふとんも洗える大型タイプから靴用まで、さまざまな洗濯乾燥機が24時間利用でき、小上がりでお待ちいただくこともできます。また、専用アプリを使用することでキャッシュレス決済が可能となるほか、洗濯、乾燥終了後の通知など便利な機能をお使いいただけます。

#### よりみちブック

旅・自然・暮らし・絵本など、幅広い年代層を対象に多彩なジャンルの書籍を取りそろえたブックコーナーです。読書のほか、読み聞かせや勉強などにもご利用いただけます。

#### の〜く食堂

栄養バランスの取れた日替わり定食や地元食材を活かしたメニューを取り揃えた食堂です。カフェタイムはスタッフが手作りした自慢のスイーツや軽食がお楽しみいただけます。

大人数での団体利用もお気軽にご相談ください。

平日のディナータイム、土日祝日は終日ノークブルワリー（ビール醸造所）で醸造した3種のクラフトビールを味わうことができます。

また、東通牛ウィンナーをはじめとする各種おつまみもご用意しています。



ノークランドリー



よりみちブック



の〜く食堂



ノークブルワリー（ビール醸造所）

## 4. 持続可能な地域の共創（1 / 3）

地域の発展と原子力事業の基盤整備につながる事業への貢献や、安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域とともに創る取り組みを行っています。

### <一般社団法人東通みらい共創協議会>

- 東通村と当社が長期的な時間軸の中で資金を拠出し、持続可能な地域づくりや当社原子力事業の基盤整備等につながる事業に貢献しています。「東通みらい共創協議会」の目的に合致した村の事業に協力するほか、協議会自身が産業の発展や地域の安全・安心な暮らしに貢献する取り組みなどを行うこととしており、産業振興事業や防災関連事業を行っています。

### <「産業振興」へ向けた取り組み>

#### 【東通みらい共創協議会】

#### ふるさと納税等推進の取り組み

- 新たにふるさと納税特設サイト『東通ふるさと納税』を開設し、3月から運営を開始しました。寄付の御礼の品として東通の産品を多くの方に知っていただくとともに村財政にも貢献できるよう展開していきます。
- 合わせて、ECサイトも開設する予定です。ふるさと納税特設サイトと一体的に運用し、村のふるさと納税の返礼品を通じ、村の産品を知っていただいた方に購入していただけるように展開していきます。



東通ふるさと納税



#### 東通村ギフトカタログの取り組み

- 地域の特産品のギフトカタログを制作し販売しています。  
(東通村の産品を県外含めて広く知っていただくよう取り組んでいます。)
- オンライン販売の整備や都内催事でのPR、新価格帯コースや新商品の増設等、販売促進と商品の魅力向上を併せて図りながら展開しております。

東通村  
ギフトカタログ  
ECサイト↓



## 4. 持続可能な地域の共創（2 / 3）

### <「学習応援」の取り組み>

#### 【東京電力】

- 昨年度から、村全域の小学生を対象に、月に一回程度、学習応援活動「TEPCOふれあいくらぶ」を開催しています。当社社員による小学生の宿題のサポートやレクリエーション活動を実施しています。
- これまでの主な活動実績（2024年度から全18回開催し、延べ450名程が参加）  
JAL折り紙ヒコーキ教室、クリスマスリースづくり、防災教室、卓球教室、モルック大会 など



宿題のサポート



JAL折り紙ヒコーキ教室



クリスマスリースづくり

### <「移住・定住促進」の取り組み>

#### 【東通みらい共創協議会】

- 新たに村の魅力を発信するHP「東通のあるきかた」を開設し、2025年12月から運営を開始しました。
- 地域おこし協力隊員が移住当事者としての目線で、商品やお店の紹介、移住情報などを順次更新しています。



移住・定住者向けHP  
東通のあるきかた



## 4. 持続可能な地域の共創（3 / 3）

### <「自然災害」に対する取り組み>

#### 【東京電力】

- 2017年11月、東通村と当社で締結した津波災害時における協定に基づき、2025年7月および12月の津波警報時は、当社新小田野沢寮を避難場所としてお使いいただきました。

#### 【東通みらい共創協議会】

- 2022年2月、東通村と当社と東通みらい共創協議会で締結した自然災害時における協力協定に基づき、これまでに避難所用テント・マット、貸出用モバイルバッテリーや電動車両を配備しました。

### <「災害協力協定」における主な協力内容>

#### 【東京電力】

- 社員寮等の一部開放、電動車両による給電

#### 【東通みらい共創協議会】

- 避難所用テント・マット、モバイルバッテリーの貸出



電動車両による給電訓練



災害時に向けたテント設営体験



村内防災訓練への参加

### <防災に関する取組>

#### 【東通みらい共創協議会】

- 2025年9月には防災イベント「親子防災キャンプ」を開催しました。
- 南海トラフ地震の揺れが体験できる地震車や放水体験、煙体験ハウス、応急担架及び搬送体験などを実施しました。



防災イベント



地震車



放水体験

## 5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展

長期にわたり安全最優先に原子力事業を進めるため、原子力人財の育成・確保と技術の継承を行っています。

### <原子力人財の育成・確保と技術の継承への取り組み>

- ▶ 地域に根差した体制の構築のため、青森事業本部に社内外から各分野のエンジニア等を順次配置し、体制を強化しています。新入社員も計画的に配置し、建設業務に係るノウハウを継承しています。
- ▶ 原子力人財の確保のため、インターンシップ（年2回）受入等を実施しているほか、地元人財の確保のため、積極的な学校訪問を実施しており、2025年度は地元の高校等から新入社員7名が入社しました。
- ▶ こうした取り組みから、青森事業本部発足時約70名（本部設立前は50名弱）だった職員は約130名となっております。



インターンシップの受入（年2回）



学校訪問



原子力人財の育成、技術の継承・発展に日々注力

## 6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化（1 / 2）

私たちは地域に密着した共生活動や情報発信を積極的に行っています。  
 地域のみなさまとの対話の機会を大切にして、更なる関係深化に向けて取り組みを継続してまいります。

### <主な取り組み>

▶ 地域イベントへの参画・参加（東通ドン！とボン盆フェスタ、産業まつり）



東通ドン！とボン盆フェスタへの参画



産業まつりへの参加



産業まつりへの参加

▶ 村直売所の運営スタッフへの協力、村内清掃活動（26地区）・国道338号線の清掃活動の実施



村直売所運営スタッフ



村内清掃活動への参加

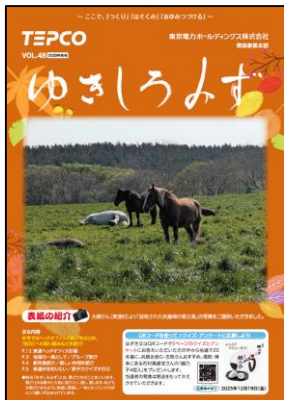


パートナー企業と合同での国道338号線の  
 清掃活動

## 6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化（2 / 2）

### <主な取り組み>

- 広報誌ゆきしろみず（年2回）の発行、全戸訪問（約2,500戸）による情報発信活動
- 東通物産品の積極的な販売・購入（東通村フェア：東通物産品の食堂メニュー・本社販売会）



広報誌の発行



全戸訪問



東通物産品を使用した  
食堂メニュー



本社販売会

- 東通小学校スポーツ少年団(バレーボール、野球、陸上)の支援
- 東通小学校を対象としたエネルギー教室の開催
- 東通村の皆さまを東通原子力建設所サイト内視察にご案内



東通小学校スポーツ少年団活動支援



東通小学校エネルギー教室



東通原子力発電所サイト内視察